

令和4年5月23日

(一社) 日本植木協会
会員 各位

(一社) 日本植木協会
緑育出前授業実行委員会
委員長

みどりとふれあうフェスティバル 2022 参加報告書

表題の件、過日に実行しましたみどりとふれあうフェスティバル 2022 参加の報告を致します。

記

1. 参加名 みどりとふれあうフェスティバル 2022
 2. 場所 東京都立木場公園（江東区）
 3. 日時 令和4年5月14日（土）～15日（日） ※14日は前日雨天により中止
5月14日 13時に集合し、テント内展示設営、見本のこけ玉作成
5月15日 9時（準備）に集合し～17時頃過ぎ（片づけ）まで
 4. 参加者 14日：雨天のため急な中止によりテント内の展示設営準備
緑育出前授業実行委員会

15日：青年部会東日本ブロックと委員長
 5. 実施目的 協会事業として協会のピーアール、緑育、緑の普及、植木の購買に繋げる、将来の植木業界の向上を目指すことを目的とする。
 6. 実施内容 緑化啓発事業の協会事業として緑育委員会が実施した。
 - ・こけ玉作り参加費 300 円
開始直後、長蛇の列となったため整理券を配布し 30 分で 82 枚配布し、実際に 80 人の方が参加売上があった。
 - ・緑育体験キット販売 1100 円に設定。4 個販売。
 - ・「365 日の誕生日の木」は人気があり、協会 PR も行った。
 - ・パンフ 4 種配布 緑育、みどりにちがひがあります、身近な植木、こけ玉の作り方
 - ・苗木の種類 こけ玉の苗木：シマトネリコ、イロハモミジ、常緑ヤマボウシ、サツキミツバツツジ、アナベル
緑育体験キットの苗：オリーブ(マンザニロ)、ハナミズキ、ブルーベリー(サンシャインブルー)
- 《当日内容》 **14日(土)は、**蒸し暑い湿度 90%、気温 25 度の気候でした。9 時に集合して準備をする予定でしたが、前日の大雨でテント設営が出来なかったため急遽中止となった。13 時から荷物の搬入開始ということで、委員がこけ玉作りや緑育体験キットの苗、赤玉、土、肥料、水苔、タコ糸、手袋、バケツ、パレット等をトラックで搬入し、協会からのパンフや垂れ幕、諸々の備品は、事務局の車で搬入した。13 時に他の緑育委員も集合し、明日のテント内の展示設営をし、15 時頃から緑育委員会会議を開催した。

15 日(日)は、涼しく快適の気候の中、9 時に集合し 10 時スタートの準備をし、委員が青年部会にこけ玉作りのレクチャーをした。10 時スタートと同時にあっという間に 50m 以上の長蛇の列ができ、慌てて整理券を配布することにした。最初の 2 人程は大人の方も参加してもらったが、その後は子どものみの参加とした。82 枚整理券は用意していなかったため、終了後記載してもらったアンケートの裏面に番号を振り、おおよその時間（11:00~11:30 等）と記載し、緑育パンフ等渡ししながら、緑の生産者・卸の団体であることと、緑は地球に優しいことなどを伝えた。

指定の時間になった参加者は、受付に来てもらい参加費を頂き、手の空いている青年部の方をお願いした。まずは、好きな苗木を選んでもらって作成し、最後にその植物カード（植物の写真と特徴等を記載）を渡して、育て方等を教えて大切に育ててもらうようお願いした。

青年部会の 5 人と西郷委員長が差し入れてくれたおにぎりや栄養ドリンク等を立って食べるのが精一杯だった。また、「3 6 5 日の誕生日の木」のパネルは、大勢の方が足止まって見たり、写真を撮ったりして、そこでも協会 PR を行った。

7. 改善点 次回参加する場合は、事前に整理券を用意し、1 日の MAX が 5 人で 80 個は忙しく厳しかったので、チラシ等に参加限定数を告知し、こけ玉を作成するのが目的ではないので（あくまでもおまけ）、余裕のある時間を取り、緑育（協会の説明、植木の力の説明）をもっと行うようにしたいです。

8. 写真報告





365 日の誕生日
の木は、多くの方
が見たり、写メし
ていました。

緑育体験キットを
販売

木への漢字パズル



元林野庁長官が 2 度も熱心に見に
来てくれました。

